

平成30年3月14日

## 輸送動向について（平成30年2月分）

### 1. 輸送概況

今月は、上旬から中旬にかけての新潟・北陸地区大雪、下旬の北海道地区暴風雪の影響を大きく受け、月全体で高速貨 358 本が運休した（前年は、高速貨 76 本が運休）。

コンテナは、鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物が九州向けを中心に好調に推移した。また、自動車部品は東海地区発広島・九州地区向けが増加し、前年を上回った。

一方、紙・パルプは需要の減少に加え、雪害の影響で新潟・東北地区発を中心に前年を大きく下回った。また、化学工業品は製品値上げ等もあり出荷が落ち込んだ。さらに秋田・新潟・北陸地区の農産品・青果物、北陸地区の飲料、新潟地区の菓子、北海道地区の砂糖といった食料工業品等が雪害の影響を大きく受け、コンテナ全体では前年比 96.7%となった。

車扱は、石油が配送圏の見直しおよび厳しい寒さが続いたことに伴い、灯油を中心に好調な荷動きとなったほか、石灰石も供給先の生産好調により増送となった。その結果、車扱全体では前年比 108.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 100.5%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,726	1,784	96.7%	20,316	19,866	102.3%
車 扱	914	844	108.3%	8,373	8,108	103.3%
合 計	2,640	2,628	100.5%	28,689	27,974	102.6%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	156	165	-9	94.3%
	化学工業品	162	172	-10	94.2%
	化学薬品	126	127	-1	99.3%
	食料工業品	264	272	-8	96.8%
	紙・パルプ	225	255	-30	88.3%
	他工業品	132	138	-6	95.2%
	積合せ貨物	220	209	11	105.6%
	自動車部品	80	78	2	103.1%
	家電・情報機器	33	34	-1	97.9%
	エコ関連物資	37	40	-3	91.7%
	その他	291	294	-3	99.0%
	コンテナ計	1,726	1,784	-58	96.7%
車 扱	石油	650	596	54	108.9%
	セメント・石灰石	116	110	6	104.7%
	車 両	90	85	5	106.1%
	その他	59	52	7	112.8%
	車 扱 計	914	844	70	108.3%
	合 計	2,640	2,628	12	100.5%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）